



深草徹の“ここがポイント”

敵基地攻撃能力の保有とは？



深草徹

敵が、弾道ミサイルをまさに発射する寸前に、その発射基地を攻撃し、弾道ミサイルの発射を阻止する軍事行動を”敵基地攻撃”と言います。自衛隊は、そのための装備、組織、体制を整えるべきだという論、これが敵基地攻撃能力保有論です。

敵基地攻撃は、時間と場所が一点に集約される「必要最小限度の実力行使」であり、そのための装備、組織、体制も限定的であるから、自衛のための「必要最小限度の実力」にとどまるのではないか、と思われる方もおられるかもしれません。しかし、これは机上の空論です。

弾道ミサイル発射基地は一つではなく、敵国内各所に構築され、車両、艦船など移動発射基地も備えられているでしょう。また、それらを防禦する装備、施設が敵国内に網の目のように張り巡らされているでしょう。それらを破壊し、無力化することも必要です。

ですから、敵基地攻撃とは、全面戦争にならざるを得ません。

また、時間的にも、弾道ミサイル発射直前に絞られず、先制攻撃を必然とします。

今、政府・自民党は、敵基地攻撃能力の保有を検討しています。それは、自衛隊を全面戦争ができる“外征軍”へと転換を図るもので、「戦争法制」を全面的に働かせようとする企みです。

こんな企みを絶対に許してはなりません。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会. ひがしなだ筆頭代表世話人)

世相雑感

「repeat・スガ」

横林 賢二

この間、新型コロナウイルスが国民を苦しめ、倒産や失業者が増えているにも拘わらず、国会を閉じる。開会すれば、日本学術会議会員問題で6名の任命拒否。理由も言わず、委員会でどんな質問に対しても、日本学術会議のあり方論を繰り返すだけ。支離滅裂でも、問題ない、と繰り返す。前首相よりひどい「説明」である。

「丁寧な説明」は、国会では死語になったのか？「パターン化した国会答弁」——そんな記事が新聞を賑わす。

しかし、忘れてはいけない問題がある。日本学術会議の予算約10億円は問題にしても、2021年度の防衛費概算予算の772億円を決定。これが安倍政権を引き継いだ、という「スガ政権の姿」である。スガ首相に、新たなニックネームを付けるとしたら、「repeat・スガ」である。濁点を取れば「スカ・スカ」である。

(須磨区在住、ゴンチャロフ労組特別執行委員)

「コロナ禍での憲法集会」

國富さとみ

11月3日に、神戸芸術センターにて、「11.3兵庫憲法集会」が開催されました。

いつもは5月3日の憲法記念日に皆さんとお会いしていたのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、半年お預けとなっております。数百人が集まる会合は久しぶり、という方も多かったのではないのでしょうか。かくいう私も、その一人で、皆さんのお元気そうな姿を見られて、それだけで元気をいただきました。

会場では、ゴスペルシンガーである新井深絵さんの明るくパワフルな歌声が響き、その後のパネルディスカッションでは、元文部官僚で映画プロデューサーの寺脇研さんが、官僚の実態や子供の貧困について、憲法学者の上脇博之教授が政治とお金について、永井幸寿弁護士がコロナと緊急事態条項について、それぞれお話されました。

今年は、YouTube でネット配信もされましたので、普段は会場に足を運ぶことが難しい方も、参加しやすくなったかと思います。

コロナの影響も、悪いことばかりではないですね。

(弁護士、西宮さくら法律事務所)



史跡・戦跡めぐり

今秋は10月25日に開催 住吉東古墳から倚松庵、灘校など

合田和義



新型コロナウイルスの影響で、延期を余儀なくされていた史跡・戦跡めぐりを、秋晴れの10月25日午後1時半から、計14名の参加で行ないました。

JR住吉駅南側広場を出発して、埴輪の広場（住吉宮町遺跡・住吉東古墳）や文豪・谷崎潤一郎ゆかりの倚松庵（いしょうあん）、雀の松原の碑、菊正宗酒造記念館、わかばサロン忠魂碑や灘中・灘高（併せて灘校と総称）の嘉納治五郎生誕ゆかりの地の石碑や銅像などを巡って、午後5時前に散会しました。

埴輪の広場では、住吉東古墳の帆立て貝の形をした古墳を詳しく紹介。倚松庵と菊正宗酒造記念館では、コロナの影響で2組に分かれて見学しました。雀の松原の碑では、古くから伝わる雀合戦と焼き鳥の民話を紹介しました。

菊正宗酒造記念館では、江戸時代に灘の酒が隆盛を極めた各種の条件、住吉川流域の優位性を詳しく紹介しました。

灘校では、戦前の旧制灘中学の設立と嘉納治五郎の関係にも触れて、今回の史蹟戦跡めぐりを終えました。

人類の危機を救おう 自らの被爆体験を通して

副島 罔義

核兵器禁止条約は、核兵器が最悪の残虐兵器であり、禁止するしかない、と宣告しました。国連の第一決議の精神がよみがえるまでに、75年かかりました。

核による威嚇で、「自国第一」を貫こうとする「指導者(?)」たちも、建前としては「核なき世界をめざす」ことを口にします。

が、「なくなったほうがいいけれど、現実の国際政治では云々」と言い、「国同士の力関係での『優位性』や『安定性』が「安全保障」だ、と実際には、なくそうとしません。

しかし、「本気で核なき世界をめざす」カギは、核兵器の残虐性・非人道性を直視することでしょう。条約はそのことを、まっすぐにかかげ、国際社会に「狭い『政治力学』から抜け出よ」と呼びかけました。

地獄をくぐってきた被爆者が、「報復・憎悪の道」ではなく、「自らを救い、私たちの体験を通して、人類の危機を救おう」と、人道主義にねざした運動を積み重ねてきたことは、すごいことです。

禁止条約の思想は、これと重なり合うと思うのです。

(一被爆者)

高浜町議会、高浜原発の再稼働請願を採択 危険な40年超の老朽原発は、動かしてはならない！！

高橋武三

菅政権は「温室効果ガス2050年実質ゼロ」を宣言しましたが、それは原子力発電所再稼働と抱き合わせの宣言でした。石炭火発は減らすが、電力安定供給のために原発再稼働を進めると。

繰り返しになりますが、原発と石炭火発は必要ありません。省エネルギーの推進と再生可能エネルギー発電の拡充で、定量的にも電力は充足されます。

石炭火発が削減されても、老朽原発が次々と再稼働されてはなりません。そこで11月6日と12日、福井県大飯郡高浜町役場前の現地抗議行動に参加してきました。40年超え高浜1号2号の再稼働を求め請願を商工会などが議会に提出、その審議と採択が行われようとしていたからです。

周辺部品は交換できても、40年も前の原子炉本体は交換できません。老朽原発は極めて危険です。しかし、高浜町議会は12日、再稼働請願に反対する渡辺孝議員(日本共産党)を除き、賛成多数で経済優先の請願を採択しました。

原発再稼働後も、闘いは続きます。一日も早い稼働停止・廃炉を求めていきましょう。

(神戸の石炭火力発電を考える会)



神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者へ 今年は10月25日、会下山公園で

飛田雄一

神戸電鉄の敷設工事では、13名の朝鮮人労働者が犠牲になりました。1920年代、30年代のことです。

80年代になって歴史の掘り起こしが始まり、その事実が明らかとなりました。韓国の犠牲者遺族とも連絡がとれ、遺族もお迎えして、1996年10月に犠牲者を追悼するモニュメント（金城実さん制作）の除幕式が行われました。その後、毎年10月、モニュメント前で追悼集会が開かれています。

本年は、去る10月25日に開催されました。神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会の徐根植代表が弔辞を述べ、その後、参加者がそれぞれに、思いを語りました。

モニュメントは、神戸電鉄湊川駅より徒歩15分、神戸市兵庫区会下山公園の南西はずれにあります。是非、一度お立ち寄りください。

(神戸学生青年センター理事長)



ハナ絵モンの思い

意見表明権の実現を！

関本（市川）英恵

11月20日は「世界子どもの日」だそうです。1989年の11月20日には「子どもの権利条約」が国連総会で採択され、日本は1994年に批准しています。

子どもの権利条約は第12条で、子どもが自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利（意見表明権）を保障しています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大下において今年2月27日に発せられた3月2日からの全国一斉休校要請に象徴されるように、子どもへの十分な説明や意見表明権がおざなりにされています。私自身、バイトをしているときに、仕事内容に対しておかしいと感じていても意見を言えず、しんどい思いをしたことがあります。意見を表明することは、自分のいのちを守るうえでも大切だと感じます。私の子どもはまだ1歳ですが、まずは家庭でと思い、着替える服や読む絵本も、子どもと相談しながら決めています。

主権者教育の充実や、子どもの意見を聴こうとする大人の姿勢が求められていると思います。

（「憲法の歌」作詞者、「住むこと 生きること 追い出すこと」著者）



カンパの郵便振替口座
口座記号 00900-6
番号 217129
名義 九条の会. ひがしなだ



る。
(N生)

編集後記

コロナウイルスの第3波が拡大するなかで、政府がGOTOトラベル見直しに踏み切った。どう見ても今回も政府の対応はチグハグだ。「菅首相肝いりの政策だったので・・・」というような事なら、まったく国民の命を何と考えているのかと言いたくなる。